

貸借対照表

株式会社G x P

令和 3年 8月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 320,150,969 】	【流 動 負 債】	【 220,573,117 】
現金 及 び 預 金	22,296,963	買 掛 金	41,881,342
売 掛 金	234,506,273	未 払 金	98,208,361
仕 掛 品	48,745,604	未 払 費 用	6,265,356
貯 蔵 品	77,000	未 払 法 人 税 等	13,594,700
前 渡 金	13,974,291	未 払 消 費 税 等	22,464,500
仮 払 金	399,351	預 り 金	6,126,000
前 払 費 用	100,000	賞 与 引 当 金	32,032,858
未 収 入 金	51,487	負 債 合 計	220,573,117
【固 定 資 産】	【 13,083,439 】		
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(13,083,439)		
繰 延 税 金 資 産	13,083,439	純 資 産 の 部	
		【株 主 資 本】	【 112,661,291 】
		資 本 金	10,000,000
		(利 益 剰 余 金)	(102,661,291)
		利 益 準 備 金	2,500,000
		そ の 他 利 益 剰 余 金	100,161,291
		繰 越 利 益 剰 余 金	100,161,291
		純 資 産 合 計	112,661,291
資 産 合 計	333,234,408	負 債 ・ 純 資 産 合 計	333,234,408

第3期 個別注記表

I. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品、貯蔵品 個別法による原価法

2. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

3. その他の計算書類作成のための基本となる重要事項

消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

III. 貸借対照表に関する注記

関係会社に対する金銭債権債務

金銭債権 222,887,310 円

金銭債務 100,836,940 円

IV. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

売上高 50,589,090 円

外注費等 459,039,884 円

V. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度の末日における株式の種類及び数

普通株式 1,000 株

2. 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当金	基準日	効力発生日
令和3年8月16日 取締役会	普通株式	30,000,000 円	30,000 円	令和3年1月31日	令和3年8月31日

VI. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳 (円)

繰延税金資産

労働保険料 135,205

未払事業税 1,318,813

未払事業所税 312,071

賞与引当金 9,841,167

賞与引当分法定福利費 1,476,183

繰延税金資産合計 13,083,439

VII.	1株当たり情報に関する注記	
(1)	1株当たり純資産額	112,661円29銭
(2)	1株当たり当期純利益	68,142円05銭
VIII.	当期純利益	
	68,142,050円	